

西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議の設立趣旨

○背景

・西土佐地域の基幹的公共交通でJR四国が運行するJR予土線は、沿線人口の少子高齢化などに伴い、**利用者数の減少が大きな課題**となっている。

・四万十市では、「高知県予土線利用促進対策協議会」において、予土線の運行存続のための**利用促進並びに地域振興**について、JR四国とともに取り組んでいる状況である。

一方、JR四国では、**地域の関係者と一体となって利用促進等に取り組むとともに、四国に最適で持続可能な「公共交通ネットワークの四国モデル」の構築**を目指しており、**自動運転等の新技術に関心を持っていた。**

そこで、四万十市では「高知県予土線利用促進対策協議会」規約第6条に基づき、**JR四国・国・県へ協力を要請し「JR予土線の利用促進と沿線地域振興を図ること、及び将来のサステナブルな公共交通の実現**を目的として、**JR江川崎駅と観光施設等の地域拠点を結ぶ自動運転モビリティ実証実験に向けた検討を実施**すると共に、結果の検証などを行う事を目的に西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議を立ち上げる事とした。

【高知県予土線利用促進対策会議】 (S59.11～ 1回/年)

[目的]

予土線の運行存続のための利用促進を図り、もって産業・経済・教育・文化等地域の発展を図る。

[規約 第6条]

会長が必要と認める場合においては、関係機関及び団体、有識者、沿線住民等の**企画会議を招集することができるものとする。**



【西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議】

[目的]

本企画会議は、自動運転技術を用いた道路と鉄道の新たな連携手法を検討し、以って予土線の利用促進を図り、同沿線地域の観光・産業の活性化を図ることを目的とする。